

コメツガクチブサガ

7月頃にトドマツの枝に粗く糸を張り葉を食べるイモムシ（幼虫）。最大長約14mm。体は白から淡い緑色、背中に4本の赤から緑の縦筋と小さな黒点がある。葉の裏面をけずり取るように食べるので、残った部分が黄色く枯れて目立つ。葉上で10mmほどの黄色の繭を作り蛹になる。繭の両端はとがる。

森林でまれに多発する。

【学名】 *Ypsolopha tsugae*

【分類】 チョウ目 (Lepidoptera) , スガ科 (Yponomeutidae)

【分布】 北海道, 本州.

【生態】

宿主：トドマツ, コメツガ.

年1世代。幼虫は6月に当年生葉を食べる。6月中旬～7月上旬に葉上で黄色の繭を作って蛹になる。成虫は7月に出現。

【文献】

1984. 鈴木重孝, 駒井古実. 北海道における針葉樹を摂食する小蛾類. 北海道林業試験場報告, 22: 85-129. (分類, 形態, 生態) .

1985. 農林水産省林業試験場北海道支場保護部. 北海道樹木病害虫獣図鑑. 223 pp. 北方林業会, 札幌. (生態, 被害, カラー写真) .

北海道立林業試験場・緑化樹センター

コメツガクチブサガ suga/kometuga/kaisetu.htm

「文章」 原秀穂, 北海道立林業試験場, 2001/12/10.